

広報

にしあいづ

1

2024
No.783

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

登録をお願いします！

もくじ - Contents -

P2 特集1 新年のごあいさつ

P4 特集2 新春特集 年男・年女インタビュー

P6 まちの話題

赤い羽根共同募金引渡し、健康な土づくり25周年記念大会 ほか



西会津町長 薄 友 喜

明けましておめでとうござ
います。

令和6年の初春を、町民の
皆さまと共に迎えられたこと
に心からお慶び申し上げま
す。

本年は町制施行70周年の節
目の年であります。今日まで
西会津町の礎を築いてこられ
た先人諸氏並びに町民の皆さ
まに改めて敬意と感謝の意を
表す次第であります。

謹賀新年

昨年は新型コロナウイルス
感染症の位置付けが感染症法
上の5類へと移行したことに
伴い、町内においても多くの
行事が数年ぶりに再開される
など、徐々に賑わいが戻って
きたところであります。さら
に、一般財団法人西会津農
業公社や、特定地域づくり事
業協同組合である「協同組合
マルチワークスにしあいづ」
が創立されるなど、地域の担

い手不足の解消へ向けた着実
な歩みを進めることができた
ところです。今後も、顕在化
する諸課題の解決に向け、取
り組んでまいります。

さて、町では、「西会津町
総合計画・後期基本計画」で
掲げる町の将来像「笑顔つな
がり 夢ふくらむまち」
ざーっと、「西会津」の実
現に向け、本年も継続して取
り組んでいる人口減少対策の
三本柱、人材育成、移住・定
住の促進、健康長寿を事業推
進の基本的考え方に定め、町
民の皆さまとの公約実現のた
め、全力で取り組んでまいり
ます。

①人材育成

これまで取り組んできた保
育サービスをはじめ、各種事
業のさらなる充実を図るとと
もに、妊婦・子育て家庭に寄
り添う伴走型相談支援体制の
確保により、安定的な子育て
支援に努めてまいります。

教育環境の充実において
は、令和4年度より実施して
いる幼保小の架け橋プログラ

ムに関する調査研究事業によ
り、こゆりこども園から小学
校への円滑な接続を図るため
の体制作りを進め、「架け橋
期」の教育の資質向上並びに
充実にも努めてまいります。

②移住・定住の促進

地域活性化企業人制度の活
用による観光プロモーション
の実施、温泉施設をはじめと
した既存観光資源整備を進め
ていきます。また、後継者対
策事業や創業支援、事業承継
事業をはじめ、農林業・商工
業の活性化につながる施策の
さらなる展開や特定地域づく
り事業による地域の安定的な
雇用環境の整備を進め、交流
人口、関係人口の拡大から、
仕事作りまでを一元的に推進
することで移住・定住施策の
さらなる促進を図ってまいり
ます。

③健康長寿

健康増進計画（第2期）に
基づき「からだ」「こころ」「つ
ながり」による「さすけねえ
わ（輪）」の健康づくりを継

続し、健康指標の改善を図つ
てまいります。特に、生活習
慣病予防のため町民健康セル
フケアを進め、健康に対する
意識の高揚を図るとともに、
引き続き、医療体制の充実に
も努めてまいります。

また、以上のほか、昨年7
月、老朽化に伴う源泉温度の
低下により、ご不便をおかけ
しております。「ロータスイ
ンの温泉」について、令和6年
度より2カ年計画で新たな源
泉井を掘削し、早期の利用に
向けて全力で取り組んでまい
ります。

このほかにも、新たな取り
組みを検討しながら、できる
ことからひとつずつ実施に移
し、西会津町をより魅力ある
町にするため、本年も職員と
一丸となって取り組んでまい
りますので、町民の皆さまの
特段のご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し
上げます。

本年も皆さまにとって健康
で笑顔溢れる年になりますよ
うご祈念申し上げます、年頭の
あいさつといたします。



西会津町議会議長 伊藤 一男

明けましておめでとうござ
います。

町民の皆さまには希望に満
ちた輝かしい新年を迎えられ
たことと心からお慶び申し上
げます。令和6年の年頭にあ
たり、西会津町議会を代表い
たしまして謹んで新春のごあ
いさつを申し上げます。

【昨年を振り返り】

昨年6月に町議会議員選挙
が執行され、新たに3名を含
む12名が議員に当選いたしま

した。町民の皆さまから信託
いただいたことを肝に銘じ、
議会の活性化に努めながら、
町民生活の向上及び西会津町
の振興、進展に努めてまいり
ます。また、初議会において
議長という大役を仰せつかり
ました。その職責の重さを認
識しつつ、公平公正な議会運
営を目指して、微力ではござ
います。誠心誠意努めてま
いります。

さて、令和2年に発生した
新型コロナウイルスの感染防

止に伴う行動制限も昨年5月
に緩和され、以前の生活に戻
りつつありますことは誠に喜
ばしいことです。人の往来や
イベント等もコロナ禍前の状
態に戻り、賑わいを取り戻す
と共に経済が活性化すること
を期待するものであります。

町議会においても、町民の
皆様との懇談の場である「議
会報告会（町民と議会との懇
談会）」が令和元年11月を最
後に休止しておりましたが、
昨年2月に再開いたしました。

今後とも継続して開催して
まいりますので、気軽にご出
席いただきまして、どのよう
な内容でも結構ですので、日
ごろ感じていらっしゃることをお
話いただくようお願いいたし
ます。

一方、ウクライナ情勢等に
よる世界的な物流の混乱や加
速する円安などにより、原油
や原材料、農業関係資材、食
料価格が高騰するなど、町民
生活に大きな影響を及ぼして
おります。また、戦争で多く
の方が犠牲となっており、一

日も早い収束を願うものであ
ります。

【議会活動について】

町議会の憲法ともいえるべき
「西会津町議会基本条例」が
平成25年4月に施行され10年
が経過しました。この間、条
例の趣旨に基づき「開かれた
議会」の推進や「不断の改革」
に努めてまいりました。

前の任期中においては「議
会活性化特別委員会」を設置
し、議会のデジタル化や政策
提言・立案を行うための方策
を調査してまいりました。こ
の中でタブレット導入を決定
し、昨年5月の臨時議会より
活用しているところです。

今期も引き続き議会活性化
を図るため、9月議会で「議
会活性化特別委員会」を設置
いたしました。

この特別委員会では更なる
タブレット活用などの方策を
調査するとともに、議会運営
が議会基本条例の目的、原則
等に即して行われているかを
調査してまいります。

また昨年は、町が農業公社

を設立予定であることから、
議会に「農業公社設立調査特
別委員会」を設置して、農業
公社の事業内容や設立される
ことに伴う町農業への影響、
財政負担などについて調査し
てまいりました。その結果、
農業公社設立については妥当
性があると判断したところで
す。なお、今後も農業公社の
運営については注視していき
たいと考えております。

【新年度に向けて】

本年は町制施行70年の節目
の年となりますので、持続可
能な町づくりを目指して、さ
まざまな活動を行い、より良
い町づくりを進めてまいりま
す。町民の皆さまには、引き
続き議会に対しまして、ご支
援とご協力をお願い申し上げ
ます。

結びにあたり、新しい年が
町民の皆さまと西会津町にと
りまして夢と希望に満ちた素
晴らしい年になりますよう心
よりご祈念申し上げます。年頭の
ごあいさつといたします。

新年の抱負

明けましておめでとうございます。

新春1月号では、恒例の新年特集として、令和6年の干支である「辰年生まれ」の皆さんに、新年の抱負や夢を伺いました。

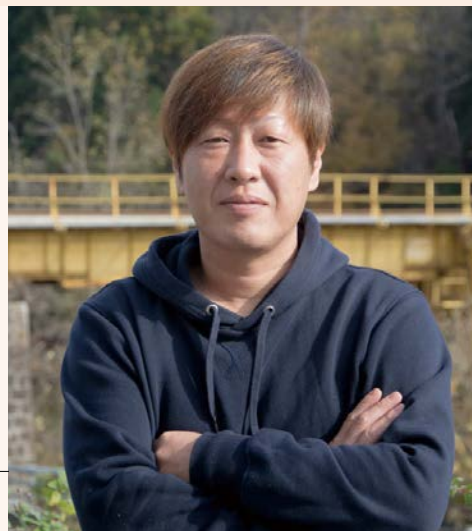
今年の目標をすでに決めている人にとっても、これからの人にとっても、皆さまの新たな1年が輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。



昨年の5月からさまざまな行事が再開したため、忙しいと感じる場面が多い年でした。以前と比べて効率を考え、行動するようになりました。平日は家と職場の行ったり来たりで終わってしまいますが、子どもたちも自立し、休日は自由になる時間が増えたので、運動する機会、筋トレなどに取り組む時間を増やして引き締まった体を取り戻したいです！

たべ たかひろ
田部 貴広さん

昭和51年生まれ 5町内



友達同士で

参加してくれました



ふくち ひいな やべ ひまり
福地 陽菜さん & 矢部 日鞠さん

平成24年生まれ 高目&中ノ沢

福地さん 昨年はクラス数が1クラスになり、不安もありましたが楽しく過ごせました。今まで風邪で欠席したり、コロナウイルスで中止だったりで参加できなかった学年発表会にも、小学校入学以来初めて参加しました。緊張したけど大きな声で発表することができたと思います。今年は6年生になるので、勉強やクラブ活動、委員会活動などを昨年以上に頑張りたいです。特に苦手な算数も頑張ります。

矢部さん 昨年は高学年になり、やる事が増えて忙しい年でしたが諦めずに頑張ったことが心に残っています。今年はやろうと思ったことに諦めずに取り組みたいです。経験を積み重ねてどんどん練習をしていこうと思います。今まで以上に大変だけどチャレンジをしていきます。



はせがわ たつお かいと
長谷川 辰男さん 魁一さん

昭和 27 年生まれ、平成 24 年生まれ 下野尻

辰男さん 去年は健康第一に過ごしました。ゲートボールやグラウンドゴルフ、ボッチャなどのニュースポーツ、地域のゴルフコンペに汗を流し、すばらしい1年でした。しかし、稲作では高温障害による水不足やイノシシの被害があり、米は皆無に近い状態でした。今年も農業と健康を第一に考え、家族、孫のために全力で進んで行こうと思います。

魁一さん 去年、学校行事で行った宿泊学習と会津若松フィールドワークが楽しかったです。友達と遅くまでたくさん話したり、手びねり体験で湯呑みを作ったりしました。湯呑みは上手にできて、毎日使っています。今年の頑張りたいことは、キッズランとそろばんです。キッズランは、長い距離を走れるコツをつかんで、良いタイムを出したいです。そろばんでは3級になり桁も増え、難しくなってきましたが1級を目指したいです。

去年は、西会津町に来て4年が経ち、町の様子もよく見ることができました。たくさんの人と出会い、新事業の計画も進めることができました。より良い西会津町にするために充実した1年でした。

今年の目標は、昨年から進めてきた新事業を実現させること！また、「奥川商会」をより多くの町民の皆さんに知ってもらい、身近な存在の会社になりたいです。

たまき もとむ
玉木 求さん

昭和 63 年生まれ 梨平



喜允さん 「うそをつかないこと、ごまかさないこと」を人生の抱負にしています。一度うそをつくると、うそを重ね続けて、それがストレスになります。長生きをするにはウソをつかないこと！思ったことは素直に伝えることが大切です。

タケ子さん 去年は、夫の入院や夏の猛暑で農作物が不作になるなど大変な年でした。今年は離れて暮らす子どもや孫たちも含めてみんな元気に頑張ってお過ごししてほしいです。



いとう よしみつ こ
伊藤 喜允さん タケ子さん

昭和 15 年生まれ 出ヶ原



▲西会津高校の皆さん

「赤い羽根 勇気と優しさ 助け愛」 赤い羽根共同募金を引渡し

町内の各学校で集められた赤い羽根共同募金が町へ引き渡されました。11月20日には西会津高校と西会津中学校、11月28日に西会津小学校から各校の代表児童生徒がそれぞれ町役場を訪れ、町共同募金委員会長である薄町長へ募金箱を手渡しました。

薄町長は「皆さんのあたたかい善意で集まった募金は大事に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

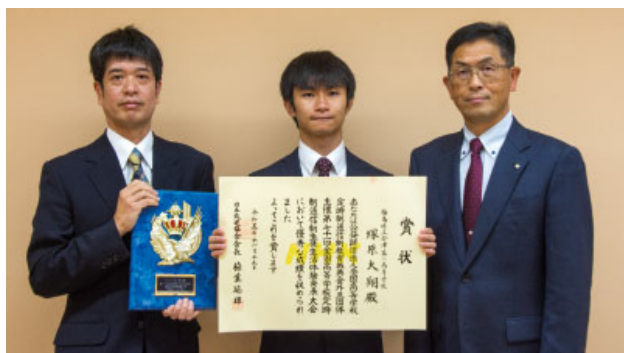


▲西会津中学校の皆さん



▲西会津小学校の皆さん

NHK会長賞を受賞 全国大会の結果を報告



▲写真左から木村教諭、塚原さん、五十嵐教育長

11月28日、会津第二高等学校の塚原大翔さん（4年）と木村哲也教諭が町役場を訪れ、全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会の結果を五十嵐教育長に報告しました。塚原さんは、10月11日の県大会で最優秀賞に輝き、11月19日に東京都内で行われた全国大会でNHK会長賞を受賞しました。

報告に訪れた塚原さんは、「自分と同じようにいろいろな事情を抱え定時制高校を選んだ人たちの発表が聞けたことは貴重な経験だった。また、その中で自分の経験を伝えることができ嬉しかった」と話していました。



活動の成果を発表 西会津こども研幾塾 閉塾式

11月27日、西会津こども研幾塾の閉塾式が町役場で行われ、塾生18人が活動の成果を発表しました。

発表の後に、塾生自身が漉いた出ヶ原和紙を使った修了証が授与されました。塾生一人一人に修了証を手渡した塾長の薄町長は、「町をよく知るためにこれからも勉強を続け、町に自信と誇りを持って周りの人に伝えられる人になってください」とあいさつしました。

次のステージへ前進 健康な土づくり 25 周年記念大会

平成 10 年から取り組んできた「健康な土づくり事業」は今年で 25 周年を迎え、11 月 25 日に「健康な土づくり 25 周年記念大会」を町公民館で開催しました。

大会では、薄町長が「ミネラル栽培といえば西会津町といわれるような産地づくりを目指し、10 月から業務を開始した一般財団法人西会津町農業公社と連携し、健康な土づくりによるミネラル栽培を一層進めていきたい」とあいさつしました。

続いて、十和田おいらせ農業協同組合の斗澤康広代表理事専務（下左写真）が「JA 十和田おいらせにおける健康な土づくり事業の取組みについて」と題して記念講演を行いました。

パネルディスカッションでは、県会津農林事務所喜多方農業普及所の新田耕作所長をコーディネーターに、薄町長や農業関係者らがパネラーとなり、健康な土づくりや儲かる農業について意見を交わしました。（パネラーは以下のとおり）

大会の最後には、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の物江義榮会長が「中嶋常允氏が提唱した健康な土づくりの考え方を基本に、5 年後に向けて関係者と連携を図り、健康な土づくりによるミネラル栽培に取り組んでいきます」と目標宣言を朗読しました。その後、会場ではミネラルっ娘^{とどむ}を使った豚汁とコシヒカリ（げんき米）のおにぎりの試食が提供されました。

※平成 27 年度に商標登録した西会津町のミネラル野菜。



▲ミネラル野菜展示コーナー

■パネラー

【十和田おいらせ農業協同組合代表理事専務】斗澤 康広氏 【会津よつば農業協同組合代表理事組合長】原 喜代志氏
【株式会社生科研常務取締役】中嶋 浩平氏 【にしあいづ施設園芸生産振興組合会長】目黒 輝夫氏
【西会津町長】薄 友喜



記念講演「JA 十和田おいらせにおける健康な土づくり事業の取組みについて」



パネルディスカッション「健康な土づくり 儲かる農業を目指して」



黒沢の歴史・文化を後世に伝える 町へ著書を寄贈

12 月 7 日、樽井清市さんが町役場を訪れ、自身が執筆した「黒沢の歴史物語」を寄贈しました。

樽井さんは「資料集めから 4 年をかけて作成しました。先祖が築いた黒沢の歴史を風化させないためにも、この本を通して後世まで残ってほしい」と話していました。





自分を信じ、
仲間を信じて、
つなぐタスキ！



ふくしま駅伝 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会

白河カタルスポーツパークをスタートし、福島県庁までの96.3キロメートル、16区間を一本の襷たすきでつなぐ第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会「ふくしま駅伝」が11月19日に開催されました。市町村混合チーム「希望ふくしま」や今年採用になった8区をスタートとする全9区間でのオープン参加を合わせた県内59市町村53チームが出場し、西会津町チームは総合順位42位でゴールしました。



本町チームは7月から練習を重ねていましたが、選手が集まらず、一時はオープン参加での出場もやむを得ない状況でした。しかし、過去に出場経験のある選手や中距離走を専門にする選手の協力を得て、16区間フル出場での参加ができませんでした。

1区は昨年に引き続き抜擢された伊藤妃杏選手が先頭集団につく果敢な走りを見せ、2区の清野樹選手に襷をつなぎました。7区・長谷沼伶皇選手が区間27位、8区・築田海斗選手が区間26位で前半を終え、後半は10区、エース区

間の伊藤亜久里選手が区間25位、12区・二木蒼太選手が区間24位、15区・三留夕都莉選手が区間23位と奮闘し、アンカー・薄上南平選手が総合順位42位でゴールしました。

解団式に出席した選手やサポーターたちは、「また走りたい」「今度は選手になりたい」と話し、今回の課題を見つめ、いい成績を残したいという気持ちを来年度につなぐ大会になりました。



- 襷たすきつないだランナー 「敬称略」
- 1区 伊藤 妃杏(会津農林高1年)
 - 2区 清野 樹(葵高2年)
 - 3区 高松 翔和(喜多方桐桜高1年)
 - 4区 高野 駿(喜多方高3年)
 - 5区 岩原 遥音(喜多方桐桜高3年)
 - 6区 鈴木 俊哲(長浜、ハイオ大1年)
 - 7区 長谷沼伶皇(西会津中2年)
 - 8区 築田 海斗(西会津中2年)
 - 9区 三留 翠莉(西会津中1年)
 - 10区 伊藤亜久里(重テニカル会津若松事業所)
 - 11区 築田まりな(西会津中3年)
 - 12区 二木 蒼太(山形東高2年)
 - 13区 横山 翔大(テンプルスポーツカレッジ2年)
 - 14区 雅楽川隼人(町振興公社)
 - 15区 三留夕都莉(西会津中3年)
 - 16区 薄上 南平(パールクロステクノロジー)

西中町民図書館 新刊オススメ本



『藤井聡太は、こう考える』
[杉本 昌隆 著]
PHP 研究所

2023年10月、ついに藤井聡太氏が王座戦を制し、将棋界初となる八冠を達成。21歳2ヶ月で前人未到の偉業を成し遂げました。

彼はなぜ強いのか。その理由を師匠である著者は次のように分析しています。人は誰もが好き嫌いや、得意不得意があるものだが、将棋に関して藤井は、そのような視点で相手を見ていない。純粋に将棋を楽しみ、後世に残る棋譜を残したいという思いから、平常心が保たれ、盤面に集中できているのだ。本書では、師匠目線で藤井聡太の集中力や構想力、平常心、探求心が余すところなく語られています。



『自然素材で楽しむ手仕事 & クラフト』
[農文協 編]
農山漁村文化協会

『続 窓ぎわのトットちゃん』
[黒柳 徹子 著]
講談社



『ロング・ロード 探偵・須賀大河』
[堂場 瞬一 著]
早川書房

『われら闇より天を見る』
[クリス・ウィタカー 著]
早川書房



町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

今月は、
田崎真子さん（出ヶ原）です。

紹介

①習字用紙ばさみ 2種類と文鎮

会津木綿と和紙をコラボして作成しました。

表紙はチリ入り和紙、中は無地の和紙を使用し、それぞれこんにゃくで補強しています。

文鎮は叔父が昔（55年前くらい？）、中学の授業で作成したものに、和紙を張ってリメイクしました。

②和紙のイヤリング

柿渋で染めた和紙や、チリ入り和紙で作りました。

③和紙のしおり

野菜の絵を描いてみました。

自分が使いたいなと思ったものを和紙で作ることができて大満足です！



① -1 開いた状態



① -2 文鎮





議案21件を審議・可決

12月町議会定例会報告

12月8日から14日までを会期に開かれた令和5年第7回町議会定例会では、条例の一部改正、令和5年度補正予算など、議案21件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

令和5年6月28日に発生した豪雨による農地・農業用施設災害の復旧状況——

町では、災害発生後、速やかに災害復旧工事に係る測量設計業務を発注し、国の災害査定に備え準備を進めてきました。その後、9月25日に実施された国の災害査定を経て、入札・契約の事務手続きが終了しました。

また、被災箇所は、尾野本小島南地区の水田及び排水路、新郷笹川平地区の用水路です。両箇所共に来春の営農活動に支障が生じないよう、請負業者の協力を頂き、早期

の復旧を目指していきます。

西会津お米ツアー2023及びお米ナイト2023——

西会津お米ツアー2023については、10月7日から8日の2日間、東京都内を中心にグルメ、報道、芸能などに携わる著名人23名を町内に招聘し、西会津町の地場産品を一堂に会し、この地場産品が生まれた本町の風土を体験していただきました。また、生産者や事業者との意見交換および商談などを行いました。

西会津お米ナイト2023は、11月18日、本町の誇れる米を中心に、米の生産者や米関連の商品開発に携わった事業者、本町ゆかりのミュージ

シャン、さらに先般のお米ツアーに参加した、食に関する業界の著名人などを招聘して開催しました。本町のオリジナル商品の認知度アップと商談を行うため、東京都港区南青山においてPRイベントを開催したものであり、当日は一般参加者、本町の関係者を含め、合計約120名が参加しました。

本事業は、米、ミネラル野菜、菌床キノコ、6次化商品など本町の主要農林産物の地域ブランド化や、新たな販売ルートへの拡大、新たな商品開発による新産業の創出などを図ることを目的として実施しました。今後も、地域の活性化が図られるよう充実した宣伝活動を継続していきます。

町公式ホームページデザインのリニューアル——

町公式ホームページについては、平成22年10月から運用を開始し、町政情報などの迅速かつ積極的な発信に努めてきました。

現在のシステムは、平成29

年3月に更新しましたが、より「見やすく」「分かりやすく」「便利な」ホームページにするとともに、「日本の田舎、西会津町。」を印象付けるため、町の風景を表示したフロントページを新たに設けました。また、生活や観光情報、目的の情報にたどり着きやすいデザインの構築作業を行い、11月29日に公開を開始しました。

今後引き続き利用者に迅速かつ的確な情報を提供し、さらなる情報発信の強化、利



▲町ホームページはこちらから



▲町ホームページのフロントページ

用満足度の向上を図っていきます。

今冬の除排雪対策——

雪処理支援隊について、本年度11月に対象世帯を調査したところ30世帯となる見込みであり、本年度からは町農業公社に、除排雪や見守り、声掛けなど現場作業に係る業務を委託していきます。引き続き、関係各課との連携を図り、迅速な支援体制の構築に努め、冬期間の暮らしの安心を確保していきます。

町雪対策基本計画（第2期）

本計画は、平成28年12月に策定後、6年が経過し、人口減少、高齢化の進行による雪処理の担い手の減少や、除排雪作業員の高齢化、空き家の増加など、雪に関する課題が増加、複雑化しています。そのため、誰もが冬期間、住み慣れた地域で安全・安心に暮らすことができるよう、現行の雪対策基本計画の見直しと、新たに西会津町地域安全



克雪方針を加えた西会津町雪対策基本計画（第2期）を策定しました。

策定にあたっては、国立大 学法人福島大学人間発達文化学類の中村洋介教授に委員長とアドバイザーをお願いし、専門的な見地から指導・助言をいただいたほか、国土交通省や福島県などの関係行政機関や雪処理に携わる人、自治区長、町内関係団体代表者など総勢23名により組織した「雪対策基本計画等策定委員会」と、町職員10名で組織する「雪対策基本計画等策定プロジェクトチーム」による検

討を重ね、策定作業を進めてきました。

今後は策定された計画に基づいて町民と行政が一体となり、雪に強い快適な生活環境づくりと災害に強い安全安心なまちづくりを推進してまいります。

鳥獣被害防止対策

本年は大変多くのツキノワグマの出没情報が寄せられ、現地調査をした上で必要に応じて、追い払いや捕獲を行うなど、被害防止に取り組んできました。12月6日現在の熊の捕獲数は81頭となっています。イノシシについては、稲の踏み倒しや畦畔の掘り起こしなどの被害が町内各地で発生しています。町で進めている電気柵設置への補助支援により、対策を講じた農地においては被害が抑えられている状況です。なお、12月6日現在で48頭を捕獲しました。

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

義務教育開始前後の5歳児

から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な「架け橋期」です。この時期の教育の資質向上に向け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとして、小学校の教育課程へ向けて具体的なカリキュラムの開発・実践を行う調査研究を昨年度から3年間、文部科学省からモデル地区の採択を受け実施しています。

2年目である本年度は、昨



年度に引き続きカリキュラムの開発・実践のほか、10月12日には、ふくしま幼児教育研修センター指導主事の米屋真由美先生を講師に迎え、「乳幼児期の学びをその先へ」と題した講演をいただき、保育士と教員が自分事として連携・協力するための「合同研修会」を開催しました。今後も本事業により、「架け橋期」の教育の資質向上並びに充実に努めていきます。

可決された議案

◆町税条例の一部改正Ⅱ令和3年から5年の税制改正により、地方税法が一部改正されたことに伴う所要の改正

◆町国民健康保険条例の一部改正Ⅱ全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部改正に伴う所要の改正

◆西会津国際芸術村条例の一部改正Ⅱ電気料金や燃料費等の高騰による維持管理費の増加に伴う施設利用料に係る改正

◆令和5年度一般会計補正予算（第7次）Ⅱ災害復旧事業に係る必要経費の計上や職員の給与等の町政により1億5828万8千円を減額

◆令和5年度特別会計等補正予算 西会津国際芸術村の管理に係る指定管理者の指定

◆町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正・議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正Ⅱ人事院勧告等に準じた改正

◆手数料徴収条例の一部改正Ⅱ戸籍法の改正に伴う、戸籍謄本等の広域交付、戸籍電子証明書提供用識別符号の発行などの追加に係る所要の改正

◆令和5年度一般会計補正予算（第8次）Ⅱ町長等特別職及び議会議員の期末手当改正に伴う補正

◆財産の取得Ⅱ西会津診療所及び群岡診療所並びに奥川診療所に、医事会計システム一体型の電子カルテシステムを導入



長年にわたる功績をたたえ表彰 自治功労者表彰式

町では、11月22日に令和5年度自治功労者表彰式を町役場で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に貢献された18人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。



受賞者・感謝状贈呈者の皆さん

式では、薄町長が式辞を述べた後、町議会を代表して伊藤一男議長がいさつしました。

その後、出席した受賞者の皆さん一人一人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、長年の功績を表彰しました。

式の最後には、功労表彰を受賞した多賀剛さん（左写真）が「このような表彰を受けることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も町の発展のために微力ながら力を尽くしていきたいと思えます」と謝辞を述べました。



令和5年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰

■特別功労表彰 [町政の向上発展に貢献]

元町議会議員

多賀 剛

■功労表彰 [町民の模範となる善行]

町交通安全母の会会長

新田 幸恵

■功労表彰 [社会福祉、慈善事業、保健衛生等に貢献]

前社会福祉法人にしあいづ福祉会理事長

廣瀬 涉

■善行表彰 [町政の向上発展に貢献]

会津若松市

渡部 景秋

町精神保健福祉ボランティア トライアングルの会会長

齋藤 信子

株式会社田代電機製作所（西会津町）

代表取締役 鈴木 儀平

感謝状贈呈

■自治区長永年勤続者

橋立自治区長
道目自治区長
中町自治区長

[10年勤続]

佐藤 健一
井上 國男
岩橋 義平

■納税貯蓄組合長永年勤続者

縄沢不動納税貯蓄組合長
弥栄納税貯蓄組合長

[15年勤続]

青津 照雄
星 敦志

■自治区長永年勤続者

上原10自治区長
芹沼自治区長
小杉山自治区長

[5年勤続]

越中 博之
武藤 忠夫
新井田 大

■納税貯蓄組合長永年勤続者

縄沢第1納税貯蓄組合長
小杉山納税貯蓄組合長
宝坂第3納税貯蓄組合長
中ノ沢納税貯蓄組合長

[10年勤続]

長谷川 秀力
田崎 宗作
佐藤 秀男
矢部 榮一

町監査事務の円滑な執行に尽力 町村監査功労表彰

町議会議員の武藤道廣さん（新町）が、全国町村監査委員協議会から功労表彰を受け、昨年11月24日に受賞報告に来庁しました。

武藤さんは、平成11年から通算7年以上にわたり、町の監査委員を務め、本町における監査業務の適正かつ円滑な執行に尽力した功績が認められての表彰となりました。



冬を迎え、除雪作業スタート 除雪事業出動式

12月1日、町除雪センターで令和5年度除雪事業出動式が行われました。式では、委託職員を代表して野沢除雪ステーションチーフの伊藤進也さんが「町民の皆さんの生活のために安全で事故のないように取り組んでいきます」と決意表明を行ったほか、除雪車両の点検を行い、降雪時の出動に備えました。



雪による事故防止のため関係機関で連携 雪害対策本部を設置

町では、雪の事故や交通障害などの雪害から町民の皆さんの生活を守るため、雪害対策本部を12月1日に設置しました。

対策本部では、雪崩発生危険箇所の巡視パトロールや、落雪による事故や雪下ろし中の事故防止のための啓発活動など、雪による災害予防に向けて活動を行います。大雪や雪害が発生する恐れがある場合などは、ケーブルテレビや防災行政無線、町ホームページなどで情報をお知らせします。



▲ 看板を掲げる薄町長と渡部町民税務課長

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

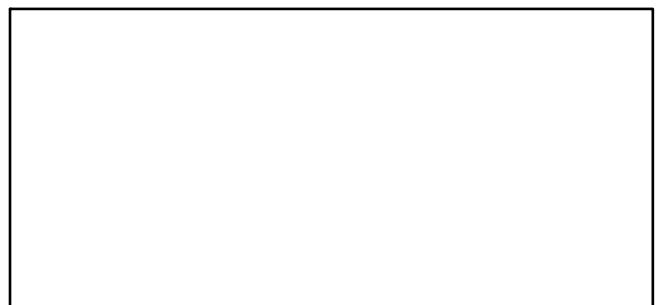
有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆ 大きさ 1 枠当たり縦 4.0 cm × 横 8.5 cm
- ◆ 掲載料 1 枠当たり 5,000 円 / 月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536





お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ 1月の放送案内

◆みんなで「さすけねえ輪！」

正月三日(1日〜3日)に年頭あいさつ、新春芸能まつり、テレビ年賀状CMを放送します。

〈問い合わせ先〉

(一社)西会津ケーブルネット
☎45-4461



農業用パイプハウスの倒壊に注意!

冬は積雪により農業用パイプハウスが倒壊する危険性が高まります。適切な対策を行い、倒壊などの被害を予防しましょう。

○人命が優先です。積雪対策は複数人で作業しましょう。

○必ずヘルメットをかぶり、滑りにくい長靴などを履いて作業しましょう。

◆降雪時の対策

①加温設備がある場合は設定温度を高め、内部カーテンを解放して、屋根面を暖めて雪が落ちるように促す。

②加温設備がない場合は、ハウスの気密性を高め、内部カーテンを解放して、地熱の放射または、簡易加温器具を使用し、室温を上昇させて雪が落ちるのを促す。

③雪が落ちる妨げとならないよう、ハウス周囲の除雪を行う。

④屋根に雪が積もった場合は速やかに雪を下ろし、被覆

資材が雪でたるまないようにする。

⑤散水により積雪を流すことは雪が水を含んで重くなり倒壊の危険が増すため、絶対に行わない。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 農政係
☎45-4531

生活保護に関する 無料電話相談会

県青年司法書士協議会および全国青年司法書士協議会は、生活保護に関する電話相談会を開催します。相談無料・秘密厳守・予約不要です。

◆日時

令和6年1月28日(日)
午前10時から午後6時

◆電話

☎0120-052-088
(当日専用フリーダイヤル)

〈問い合わせ先〉

県青年司法書士協議会
(担当者 松本晋平)
☎0242-23-8615

産前産後期間の 国民健康保険税が 免除されます

◆対象者

国民健康保険の被保険者で妊娠85日(4カ月)以降に出生した人。(死産・流産・早産及び人工妊娠中絶の場合も対象となります)

※令和5年11月1日以降に出生予定または出生した被保険者から対象。

◆免除の対象期間

○単胎妊娠 出産予定月または出産月の属する月の前月から4カ月間。

○多胎妊娠 出産予定月または出産月の属する月の3カ月前から6カ月間。

◆免除の対象となる保険税

令和6年1月以降、対象期間に出生被保険者に係る保険税の所得割額と均等割額

◆届出に必要な書類

①届出書
②母子健康手帳など
※届出の受付は出産予定日の6カ月前からできます。出

産後の届出も可能です。
〈問い合わせ先〉

町民税務課 税務係
☎45-2212

喜多方税務署から 確定申告に 関するお知らせ

◆申告は家からe-Taxで

自身のスマートフォンやパソコンなどから国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用すると、自動計算により確定申告書を作成することができます。

◆申告に関する相談について

所得税・消費税・贈与税の確定申告に関する質問や相談は「電話相談センター」を利用ください。

喜多方税務署に電話し、音声ガイダンスに従い「1番」を選択してください。

〈問い合わせ先〉

喜多方税務署
☎0241-24-5050

(音声ガイダンスに従い、「2番」を選択してください)

別表 必要書類一覧

搬入者	運転手の 運転免許証	搬入者本人の 身分証明書	ごみ発生場所 の確認書※	運搬車への 委任状※
本人 (運転者)	○			
本人 (非運転者)	○	○		
本人 (非居住)	○	○	○	
同居親族	○	○		
別居実子・ 実親	○	○	○	
別居親族 (兄弟含む)	○	○	○	○
友人	○	○	○	○

※町役場で発行できます。

喜多方地方広域市町村圏組合では、環境センター山都工場に持ち込まれた家庭ごみが管内から発生したものでどうか、誰が運搬したかを確認するため、運転免許証の提示などを求めることとなりましたので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、提示物などについて

家庭ごみを持ち込むときは
運転免許証の提示が必要です

は別表のとおりです。また、確認書および委任状は町で発行していますので、必要な場合は左記まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉
環境センター山都工場
0241-38-3005
町民税務課 町民生活係
45-2215

年末年始もごみの分別の徹底をお願いします！

年末から正月の時期は、ごみの排出量が多くなることが予想されます。家庭から出されたごみは、分別がきちんとされていないと収集できない場合がありますので、分別の徹底をお願いします。

また、ごみは、ごみ袋をしっかり縛り、時間を守って出してください。

〈問い合わせ先〉 町民税務課 町民生活係 ☎45-2215



生ごみを燃えるごみで出すときは、できるだけ水分を切り、持ち運びの負担を減らすようにしてください。



容器の中を洗い、キャップとラベルを外して出してください。キャップとラベルは、「その他のプラ」に分別してください。



容器の中を洗ってから出してください。



容器の中を洗ってから出してください。瓶のキャップは、金属製、プラスチック製など材質に応じて分別してください（12月～2月は収集を休止しています）。

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。





**西会津かるた大会
参加者募集!**

町では、「第6回町長杯西会津かるた大会」を開催します。西会津かるたを通して、町の歴史や文化を学んでみませんか。小学生ブロックと一般ブロック（中学生以上）がありますので、ぜひ申し込んでください。



日時

2月17日(土)
午前10時～正午

会場

野沢体育館(町役場脇)

申込期限

1月22日(月)まで

申込方法

左記へ電話またはQRコードから申し込みください。小・中学生は、学校で配布されるチラシからも申し込むことができます。



▲QRコード

〈申込・問い合わせ先〉

学校教育課 学校支援係
☎45-22216

**医療費のお知らせ
を確認ください**

国民健康保険または後期高齢者医療の加入者へ、自身の健康管理と医療への関心を高めてもらうため、毎年「医療費のお知らせ」を送付しています。本年度は、令和5年分の医療費について作成されますが、加入保険によって送付時期などが異なるため、注意してください。

◆国保加入者の場合

町から奇数月の月上旬に、はがきを送付しています。※記載のない医療費は領収書で申告してください。

◆後期高齢者医療加入者の場合

福島県後期高齢者医療広域連合から封書で令和6年2月下旬より順次発送されますので、確定申告を急ぐ場合は領収書で申告してください。

〈申請・問い合わせ先〉

◎国民健康保険について
健康増進課 国保係
☎45-4532

◎後期高齢者医療について

県後期高齢者医療広域連合
☎024-528-9025

**冬も無理せず
省エネに
取り組みましょう**

例年、夏と冬は全国的に電力需要が高まるとされています。冬は寒さが厳しい時期です。取り組みましょう。

◆家庭での取り組み例

冷蔵庫
常温保存できる食品は入れない、たくさん入れ過ぎない、扉を開ける時間をできるだけ短くする など

照明

こまめな消灯、LED電球に取り替える、明るさを下げる など

テレビ

視聴しないときは消す、部屋の明るさに応じて画面の明るさを変える など

エアコン

適度な温度管理、フィルターをこまめに清掃する など



ガスコンロ

炎の大きさを鍋底からはみ出ない程度にする など

炊飯器

長く保温せず、容器に移して、食べる分を電子レンジで温める など

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎45-22215

**災害案内電話が
終了しました**

喜多方消防本部管内で災害が発生した際に行っていた災害案内電話は、サービス提供終了に伴い、12月22日をもって終了しました。今後は、喜多方消防本部公式X(旧Twitter)で災害情報の提供を行います。

なお、電話での不要不急の問い合わせは災害対応の支障となる場合がありますので、控えてください。

〈問い合わせ先〉

会津消防指令センター
☎0242-59-1420

農地バンクは地域農業の未来を応援します!

「農地バンク」を活用しましょう!

農地バンクは、地域計画に位置付けた受け手に対して、農地を貸したい人から借り受け、農地の集約化等を進めます

出し手 (農地を貸したい方)

契約が明確で、安心して農地を貸せます。

受け手 (農地を借りたい方)

契約・賃料精算事務の軽減が図られます。その他各種補助金の要件となっています。

相続したので誰かに頼みたい
高齢で農業をやめたい
農地を借りて規模拡大をしたい!
農地を集約して作業を効率化したい!

公益財団法人福島県農業振興公社(福島県農地バンク) 〒960-8681 福島市中町8番2号
TEL.024-521-9845(中通り・会津担当) TEL.024-521-9843(浜通り担当) TEL.024-503-0421(被災12市町村担当)
※または、農地の所在する各市町村農政担当課・各JAまでご相談ください。

携帯・スマートフォンはこちらから
<http://www.fnk.or.jp>

▼にしあいづ福祉会のロゴマーク！



健康ポイント手帳を使った健康づくり にしあいづ福祉会の健康経営の取り組み

町では、町内で働く人の健康づくりを応援するために「こゆりちゃん健康ポイント手帳」の活用を推進しています。

今回は、にしあいづ福祉会でのポイント手帳を活用した取り組みを紹介します。

◀インタビューに答えてくれたのは、左から田崎美香さん、伊勢亀久美子業務執行理事、武藤恵子さん

Q 1. 職場で健康ポイント手帳に取り組みようと思ったきっかけは何ですか？

A. 何年も前から「職員が長く働き続けるためには健康が大切」という考えがありました。令和3年に協会けんぽの「健康事業所宣言」をしたことをきっかけに、「こゆりちゃん健康ポイント手帳」を主軸とした職員の健康づくりを始めました。去年は積極的な健康づくりをしている事業所として「ふくしま健康経営優良事業所」に認定されました。

Q 2. 職員に活用を促すためにどんなことをしていますか？

A. 令和5年度から、毎月事業所別の参加率を公表したり、各事業所の衛生委員で声掛けをしたりしています。毎月のポイントはタイムカードに記入してもらっており、取り組む人の割合は、令和5年7月は30%でしたが10月は60%と倍に増えました。

Q 3. 職員が取り組みやすいようにどんな工夫をしていますか？

A. “健康づくりも業務の一環”とし、ラジオ体操を毎日業務時間内に行い、血圧計を各事業所に1台ずつ置き、いつでも測れるようにしています。初めから全てをやるのは大変なので検温や歯磨きなど、取り組みやすいことから記入するように声掛けをしています。



Q 4. 取り組んで変化はありましたか？

A. 「野菜が摂れていなかった」「体操と運動が違うことに気づいた」などの声があり、健康づくりを普段から意識する職員が増えたように思います。

Q 5. これからさらに取組みたいことはありますか？

A. 職員の健診結果をみると血圧や脂質の値が高い人が多いため、食生活の改善に取り組みたいです。今年町保健師を講師に招き、職員研修を行う予定です。

すごいな！むし歯のない子



じゆな
坂井 珠愛ちゃん
(安座)

11月16日、3歳児1人を対象に健康診査を行った結果、むし歯がありませんでした。

健康ポイント手帳が、血圧や体重の測定、歯磨きなどの健康づくりに取り組むきっかけになっていて、勤務中でも取り組める工夫もされているので、みんなで無理なく続けられますね！



健康増進課 健康支援係
ほなみ
内山 豊夏美 保健師

Person

町民バトンタッチ

こばやし こうすけ
小林 幸介 さん [9町内2]

- ◆趣味
サッカー・釣り
- ◆特技は？
爪切り
- ◆熱中していることは？
娘、息子の大会や試合の応援
- ◆自分を一言で表現すると？
緊張しい
- ◆あなたのモットーは？
笑顔を忘れずに！
- ◆最近感動したことは？
娘が全国大会、息子が県大会に出場したこと
- ◆これからやってみたいことは？
何年も行っていない家族旅行
- ◆次の方を紹介してください
T・Sさん



とっておきの物は？

頑張っている子どもたちの写真。子どもの頑張っている姿を見るのが本当に楽しく、自分も元気もらっています。



江川 健幸さん (12月号)
からメッセージ

これから、子どもたちがどんなサッカーを見せてくれるのか楽しみです



Column

協力隊リレーコラム



はせがわ こうじ
長谷川 幸志 隊員

協力隊4年目。埼玉県出身。奥川にて下宿をしながら、町教育委員会でICT教育推進・地域協働学習支援分野にて活動中。趣味は温泉・サウナ。

あなたはあなたでいい

皆さんは、童謡詩人・金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴」という詩をご存じでしょうか。

誰しも知らないことが先にあるって、できることに出会い、知ることに出会えることを思い出させてくれ、誰もがそれぞれ違ったものを持っていて、比べることのできない素晴らしい存在だと気付かせてくれます。私たちは生まれた時には、ほとんど何もできず、何も知らなかったにもかかわらず、少しできることが増え、少し知ることが増えると、できない人や知らない人を差別しがちです。しかし、「私とあなた」ではなく、「あなたと私」という視点になった時、初めて自分優先ではなく、「みんなちがって、みんないい」というまなざしが生まれます。

このまなざしは日本の田舎においては大切なまなざしで、あなたと私、都会と田舎、移住者と地元住民、「みんなちがって、みんないい」と思える地域の未来を町民の皆さんとこれからも一緒に創っていきたくです。

戸籍の窓口

(11月受付分)

■ まちの人口

	12月1日現在	(前月比)
人口	5,567人	(-13人)
男	2,716人	(-10人)
女	2,851人	(-3人)
世帯	2,514世帯	(-8世帯)

■ お誕生おめでとう

佐藤 ^{みのり}実典くん 大輔・美里 4町内

伊藤 ^{みこと}実琴ちゃん 進也・可奈子 牧

■ お悔やみ申し上げます

平野 正志 (56)	繭子 夫	1町内
飯澤 武司 (80)	司 父	芝草
大出 常松 (95)	伸男 父	大久保
佐藤 政雄 (74)	新畑 諶 甥	出ヶ原
佐藤 彌市 (76)	宏史 父	下野尻
佐藤 豊子 (85)	利通 母	白坂
佐藤 ミツイ (90)	清悦 妻	宝川
伊藤 サチ (87)	勝文 母	呼賀
仲川 久平 (86)	久人 父	呼賀
鈴木 花子 (93)	正孝 母	新村
佐藤 利江 (98)	多己男 父	山浦

Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・野球部部长]

いわはら かい
岩原 榎生 さん

◆ 私の夢——

まだ、将来なりたい職業は決まっていますが、野球が好きなので野球の魅力が伝えられるような大人になりたいです。

◆ 努力していること——

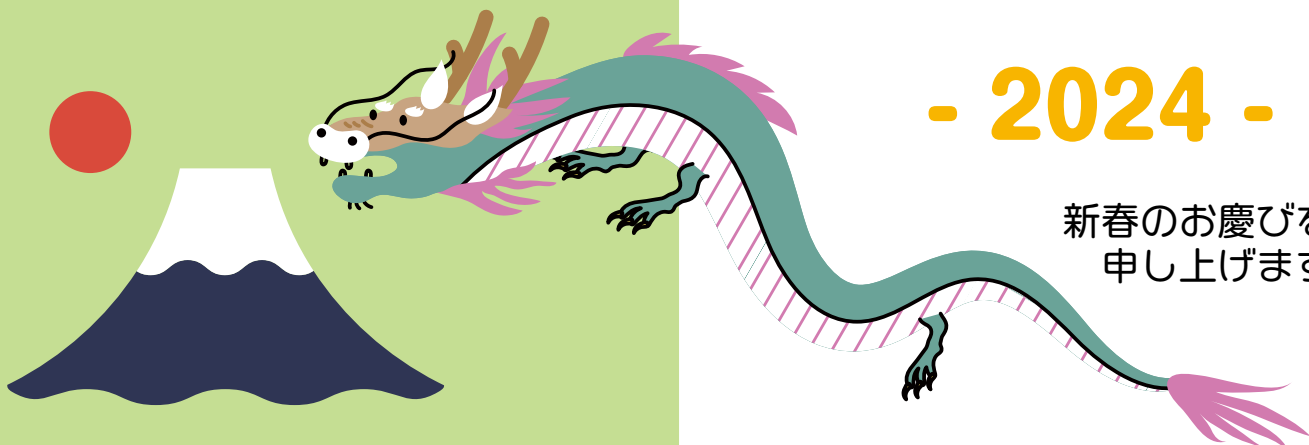
何事にも楽しく全力で取り組むことを心掛けています。

◆ 未来の自分に一言——

体に気をつけて頑張ってください。

- 2024 -

新春のお慶びを
申し上げます



地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その81

文：長谷沼 清吉

新郷の学校に対する熱い思い



新郷村長 武藤虎一

明治新政府の最大の課題は財源の安定的確保といわれ、地租改正を行い、地価による金納の租税に改めました。若松県では明治9年(1876)4月に地租改正が終わったといわれています。

地租は当初地価の3%で始まりましたが、地租改正反対運動や農民一揆が頻繁に起き、明治10年(1877)1月には2.5%に減額されました。これを受け、第14区(当時の福島県は26区に分かれ、各区に区会所を置いていた。新郷は第14区)の区会所長阿部秀正は新郷の4つの村に1戸につき1円(当時の米価1俵=約1円)を10ヶ年にわたって蓄積し、寄付することを勧めました。それぞれの村で決議して始め、明治17年(1884)までの8ヶ年で終わりました。その額は豊洲村660円(総代：高橋清十郎)、三河村500円(総代：上野善次)、笹川村730円(総代：武藤市郎平)、富士村390円(総代：長谷沼兵次、ほかに田2反9畝22歩)、合計2,280円を献納し、この献納願の文書は現在も残されています。

この献納は明治11年(1878)から17年まで小学校の経常費として支出し、残金1,469円余を村民に貸し、利子をもって経費の一部に充てました。なお、明治10年の小学校児童数は53人・学校経費が115円余、明治20年(1887)の児童数103人・学校経費456円余となっています。はじめは村の有力者や富裕な人に貸していましたが、一般村民にも貸し付けると、元利に焦げ付きが生じるようになりました。明治26年(1893)12月の収入役交代時の「学資年賦金証書引渡目録」によれば、48人に1,537円余を貸し付けています。この貸付金の回収が村政の大きな課題となり、関係者が努力するも思うようには進みませんでした。

樟山の武藤虎一が村長に就任した明治40年(1907)12月から44年(1911)12月までの間、日夜奮闘しその努力によって、元金全部と利子の一部を回収して村の基本財産とすることができたのです。



▲滑沢・正源寺にある「新郷小学校発祥之地」の石碑。明治18年(1885)まで小学校があった。



(参考)大正14年(1925)の授業料

- ・1ヶ月30銭(当時、米1俵約10円=1,000銭)25日限り徴収
- ・2人以上同時に就学の場合は1人のほかは半減または一部免除
- ・納付する能力なき者 全月欠席全月休業

お詫びと訂正

12月号20ページのにしあいづ物語100選のタイトル「西代官所役人が起こした奇妙な刃傷事件」は「代官所役人が起こした奇妙な刃傷事件」の誤りでした。お詫びして訂正します。

今月の表紙

今月は、町シルバー人材センターで行われた門松製作から。毎年、町民の皆さんからの注文を受け、一つ一つ丹精込めて製作されています。

編集後記

明けましておめでとうございませう。広報の取材をはじめ、日々お世話になっている皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(伊藤)

